

平成17年度 事務事業 評価表						
(様式1)						
記入年月日	平成17年4月22日			記入者		内線 2624
部 名	保健福祉部		課 名	高齢者福祉課		課長名 市川正美
事務事業名	介護老人保健施設建設費借入償還金補助事業					
予算上の事務事業名	介護老人保健施設建設費借入償還金補助金					
1 総合計画における位置づけ				施策コード	11210	
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政 策 名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります					
基本施策名	第2節 いきいきとした高齢社会の創造					事業開始年度
施 策 名	第1施策 地域ケアサービスの充実					平成6年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	介護老人保健施設整備資金の借入金利子の補助金交付要綱					
3 個別計画の概要	概要					
計画名	相模原市高齢者保健福祉計画(第2期)			施設サービス利用量の推計(ベッド数)		
計画年次	15	年度～	19	年度	H14	H15
					H16	H17
					H18	H19
					681	682
					724	767
					961	1010
4 事業形態の区分	助成(給付・補助・貸付) ▼					
5 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)					
	介護老人保健施設の建設に要した費用を独立行政法人福祉医療機構から借り入れた医療法人に対し、償還金の一部を助成することで施設運営の安定を図る			(2) 対象(誰、何)		
				独立行政法人福祉医療機構から施設建設費を借り入れた医療法人		
	(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
	8 法人に対し、33,937千円を助成した。					
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 晃友会(グリーンヒルズ) 5,256千円 ・ 仁恵会(相模大野) 5,190千円 ・ 徳寿会(田名光生) 5,762千円 ・ 相和会(青葉の郷) 2,305千円 ・ 小松会(清 泉 の 郷) 3,291千円 ・ 明和会(い ず み) 4,912千円 ・ 仁和会(と き) 3,866千円 ・ 明理会(ロイヤルケアセンター) 3,355千円 					
6 関連・類似事業や他市の状況	自治体によって対象者や利用限度が違う					
7 事業費の推移	[単位:千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	29,941	33,614	33,937	32,280	31,030	
一般財源	29,941	33,614	33,937	32,280	31,030	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	103	99	100	100	100	
事業コスト合計(a)	30,044	33,713	34,037	32,380	31,130	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)	主たる事業名					
	介護老人保健施設建設費借入金償還補助事業			対象名称(単位)	施設定員(人)	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	30,044	33,713	34,037	32,380	31,130	
対象数	781	931	931	931	931	
単位あたり経費(円)	38,469	36,212	36,560	34,780	33,437	
前年度比		0.94	1.01	0.95	0.96	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	施設定員（人）	指標式と指 標の説明	整備済み定員数/計画定員数*100 計画推進率		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	781.0	931.0	931.0		
目標	681.0	682.0	724.0	767.0	961.0
目標達成度	1.15	1.37	1.29		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	施設入所者（人）	指標式と指 標の説明	施設入所者/施設定員*100 入所率		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	654.0	873.0	886.0		
目標	781.0	931.0	931.0	931.0	931.0
目標達成度	83.7	93.8	95.2		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
B	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
C	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
廃止	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		以前は定員増を目的として積極的に建設を促進するために助成制度を手厚くしていたが、ほぼ計画数を満たしてきたことから、今後建設される施設に対する当該助成は行わないこととした。なお、現在交付している法人については、償還が終わるまで継続する。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input checked="" type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 特になし			14 課題として認識されたこと 特になし		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
廃止	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input checked="" type="checkbox"/>	廃止			